

平成 24 年度 研究成果報告書

2012 Research Achievement Report

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化講座 教授
氏名 Name	小矢野 哲夫
専門分野 Academic Field	日本語学

主たる研究テーマ Principal Research subject	言語行動におけるモダリティ副詞の運用の研究
<p>モダリティ副詞「まさか」を対象にして、どのような状況で運用されているのかの実態を知るために、まず書き言葉資料に基づいて観察した。書き言葉資料として用いたのは『新潮文庫の 100 冊』の中の和文作品 50 数冊である。ここから 426 例を採集した。このうち「まさか」だけが出現している会話文（一部に心内発話も含む）110 例を抽出した。これについての発話状況を原文に求めた。</p> <p>また、公表されている談話コーパスからも「まさか」の使用例を求めた。『女性のことば・職場編』『男性のことば・職場編』からは合計 6 例が得られた。『戦時中の話しことば ラジオドラマ台本から』からは 42 例が得られた。さらに、『国会会議録検索システム』を使用して 95 例を得た。</p> <p>さらに、複数のテレビドラマ（『やまとなでしこ』『ラスト・フレンズ』など）から「まさか」が出現している場面を抽出し、画面をキャプチャーすることによって発話時の表情を捉えた。音声情報も記録した。</p> <p>平成 24 年度においては資料を得ることで終わり、観察・分析・考察、さらには論文執筆には至らなかった。</p>	